

目 次

発刊にあたって	i
文化の泉守った人 本間一夫先生との出会い —— 一読者・人生の後輩として —— 藤野 高明	1
障害者と共に歩む 青木優・道代夫妻 今駒 泰成	13
盲女性の自信と誇りを体現した慈母 栗津 キヨさん 輿水 辰春	20
熱く燃えて走り抜いた 安藤 嘉英先生 阿佐 光也	27
点字出版を足場に盲人福祉のフィールドを広げた 井口 淳さん 高橋 秀治	34
砂山 せつ子 キリストにとらえられ、 キリストに献げられた人生 阿佐 光也	41
江戸時代 盲人保護確立の立役者 伊豆 圓一 慎 英弘	48
我が人生に悔いはなし 詩吟一筋の伊藤 岳峯さん 松浦 実希	55
盲人にも無限の可能性——世盲協で活躍し、 社会職業リハビリテーションを導入した 岩橋 英行 木塚 泰弘	62
点字図書館を育て、ハンセン病患者に寄り添って半世紀 ——名古屋ライトハウス会長の岩山 光男さん 水谷 昌史	69
戦後における視覚障害教育の牽引役を全うされた 大川原 潔先生 香川 邦生	76
中途失明者教育に全力を注いだ 小川 光一郎氏 高橋 秀治	86
数学を教え視覚障害者に新たな可能性と勇気をもたらした 尾関 育三さん 長岡 英司	93

加瀬 三郎さん 折り紙外交と団体への貢献で、 村谷昌弘福祉賞を受賞	武藤 歌織	100
進学適性検査点字第1号 勝川 武氏	金森 なを	107
加藤 一郎 ある「カリスマ盲人」の肖像	法澤 奉典	114
障害者社会史研究の開拓者 加藤 康昭博士	高橋 智	122
金澤 明二先生に送る手紙	梅尾 朱美	130
連帯の精神で視覚障害者福祉の向上に努めた人 金成 甚五郎	新阜 義弘	137
文芸を通じて視覚障害者福祉の向上に努めた 木村 龍平さん	新阜 義弘	143
関西で盲女子教育に尽力した 越岡 ふみ	山口 規子	150
愛盲の精神で福祉の世界を走り抜けた 近藤 正秋さん	阿佐 博	156
「知る」ということを希求して止まない盲教育者 桜井 政太郎先生	佐々木 実	164
視覚障害者の新時代を啓いた 左近允 孝之進	増田 守男	170
95歳で現役 佐藤 親貴 ——芸の道ひとすじ 白菊のように	吉澤 昌江	176
岩手の盲聾教育の創始者 柴内 魁三	佐々木 実	183
点字と信仰と愛に生きた 下澤 仁先生	当山 啓	189
理教連の屋台骨だった通称“灸達” 鈴木 達司先生	長尾 榮一	196
晴盲一体の三療業資質向上を生涯目指した 関野 光雄先生	白島 庸	202
理療科学化の大道を開いた 芹澤 勝助氏	長尾 榮一	210
風雪に耐えた人格 高橋 豊治先生	長尾 榮一	217

笑顔の奥に秘められた静かな闘志——竹内 勝美さん	大藪真知子	224
気負わず奢らずに専念した三療業 ——101歳の生涯を現役で通した 多田 彌太郎さん	佐々木 実	230
城造りと教材作りに邁進 ——今なお情熱を燃やし続ける 田辺 建雄さん	岩上 義則	237
開拓伝道で活躍した 玉田 敬次氏	阿佐 博	244
中途失明を乗り越え大学にて教鞭をとり続けた 田村 洋幸	愼 英弘	251
「自立した盲人であれ」と「食」情報を発信して20周年 ——会長に就任、すこやか食生活協会の堤 恒雄さん	武藤 歌織	258
戸井 美智子さんを訪ねて	竹田 恭子	265
火中の栗を拾い続けて79年 ——毅然として難局を切り開いた 直居 鉄さん	岩上 義則	273
大学進学から米国留学した 永井 昌彦	加藤 俊和	280
信念を貫き、爽やかに生きる 西岡 恒也先生	藤野 高明	287
「答えは自分で見つけるもの」 箏曲家として、俳人として、 趣味の人として、悠々自適の西崎 澤子さん	水谷 昌史	295
見えない駒に夢と魂を込め続けた 西本 馨六段	藤野 高明	302
視覚障害運動に半世紀 ——第1回村谷福祉賞の樋口 四郎さん	水谷 昌史	309
点字出版に情熱を燃やした 肥後 基一	阿佐 博	315
現代邦楽の先駆者 久本 玄智	吉澤 昌江	322
時代の先が見えていた 松井 新二郎先生の先駆的な活動・業績	小林 一弘	329

現代邦楽の父 宮城 道雄	吉澤 昌江	337
箏の音が飛ぶ箏曲家 森 雄士	長尾 榮一	344
山田流箏曲の開祖 山田 斗養一 検校	長尾 榮一	350
与野 福三 —— 今も羽ばたき続ける静かな情熱	大藪真知子	357
著者一覧		364